



夏でも水が冷たい「服部町ふれあい河川」(服部町)

広報 ひこね



2004
7/1

特集 彦根城博物館で遊ぼう 江戸時代の玉手箱 博物館の魅力とは	2
ときの玉手箱 第95回	6
シリーズ 新時代の市政運営 第4回 細る財源 膨らむ需要②	8
7月は「社会を明るくする運動強調月間」です ふれあいと 対話が築く 明るい社会	10
医療費の負担額の減額制度をご存知ですか	12

- 1. 人権が尊重され、誰(だれ)もが安心して暮らせる福祉のまちづくり
- 2. 良好な環境が整った、快適で安全・安心なまちづくり
- 3. 活力ある産業に満ちた、にぎわいあふれるまちづくり
- 4. 明日の彦根市を担う人を育(はくく)むまちづくり
- 5. 人とひととの交流をひろげ、市民文化を創造するまちづくり

江戸時代の玉手箱 博物館の魅力とは 特集



◀ 館蔵品が並ぶ収蔵庫。人の出入りは厳しく管理されています。資料の保存のため、温度・湿度も常に一定に保たれています。

全国から注目される館蔵品

彦根城博物館には、彦根藩主だった井伊家に伝わった美術品(武器・能や茶の道具・調度品・絵画)や古文書(昔の手紙など)など、美術工芸品約5千件、古文書は約3万7千件の資料があります。国宝1件と重要文化財3件を含み、江戸時代のものでは初めて、彦根藩の古文書が、一括で重要文化財に指定されました。

このため、毎年、全国の博物館から出品の要望があり、館蔵品の一部を出品して好評を博しています。東京のサントリ美術館や高松市歴史資料館などでは、彦根藩井伊家伝来品の紹介をテーマとした展覧会が開催されました。

このように、豊富な館蔵品を展示する博物館として、全国的に知られるようになり、来館者も、現在は彦

▶ 多くの収蔵品を持つ彦根城博物館。展示品は、月に一度入れ替えられています



彦根城博物館で遊ぼう!!

「彦根城博物館?行ったことがない。何やってるの?」「博物館って、難しそう」。開館から17年たった彦根城博物館。豊富な館蔵品により江戸時代の大名文化と歴史を味わえる博物館として全国的な評価を得ています。

でも、市民にとっては意外に行く機会が少ない場所かもしれません。今回の特集は、そんな博物館を市民が楽しむための博物館ガイドです。

根城と周辺への観光客が大半を占めています。このため博物館では、市民の皆さんにも、博物館により親しみを感じ、来館いただけるよう、魅力ある企画を進めています。

彦根城博物館の底力 常設展示の魅力

収蔵品をいかに分かりやすくしかもセンスよく展示をするか。常設展示は、各地から借用した資料を展示する企画展に比べて目新しさには欠けませんが、館蔵品による展示である分、博物館本来の魅力が凝縮されることろです。

博物館では、月に1回、ほぼすべての作品を入れ替えています。常設展示では特に、あまり関心がない人にも受け入れられるよう、分かりやすい展示を心がけています。

具体的には、各展示室に丁寧な解説シートを設置したり、「今月の一品」と題し、名品を分かりやすく解説したり、ミニテーマを設けて総合的に説明したりしています。

常設展示はまた、四季を感じることもできる空間でもあります。正月は武家の具足飾り、秋には菊の絵の展示など、日本人が古くから大事にしてきた季節感が感じられるような展示を行っています。

夏休みは博物館

子ども狂言教室

博物館では、子どもものときから博物館に親しんでもらうため、子どもを対象とした企画を1年を通じて計画しています。なかでも夏休みはメニュー満載です。

これから夏休みを迎える小学生・中学生・高校生の皆さん、難しい理屈はさておき、本物をじかに見て、博物館の楽しさを体感じ取ってください。

プロの狂言師から狂言を集中的に学び、博物館の由緒ある能舞台で発表披露会を開きます。見る側ではなく演ずる立場になるという貴重な体験は、長く記憶に残ることでしょう。期間は夏休み中の7日間です。詳しくは7ページをご覧ください。

はくぶつかんへ行こうスペシャル

日本文化の一つでもある紐の結び方を学びます。また毎年好評のお茶を自分で点てる催しも行います。詳しくは7ページをご覧ください。

高校生のための日本史・美術入門

日本の歴史・美術の魅力と奥の深さに目からうろこが落ちる入門講座。学校の授業の見方も変わることも間違いなしです。

日時・テーマ
8月7日(土)「戦国武将と関ヶ原合戦」
8月8日(日)「日本の色」

※いずれも午後2時~同3時30分
申込方法 当日博物館にて受付



▶ 子ども狂言教室の練習風景

はくぶつかんへ行こう

「小学生対象」
今年のテーマは「すくろくで遊ぼう」。昔の絵すくろく(下の写真)を使って楽しく遊び、4~6年生は、自分だけのオリジナルすくろくも作ります。

毎月2回程度、学校別に開催。詳しいことは、学校を通じてお知らせします。



はくぶつかん相談室

「学年不問」
学校で習った歴史や地域の昔のようすについて、疑問に思ったことや

知りたいことをいっしょに調べましよう。夏休みの宿題解決のヒントの場としてもどうぞ。

日時 8月21日(土)、同22日(日)
※いずれも午前9時~午後4時
申込方法 当日博物館にて受付

小学生用ガイドブックをプレゼント

市内の小学生が、彦根城博物館に来館された際、展示の内容がよく分かる小学生用ガイドブック『はくぶつかんへ行こう』をプレゼントします。希望者は受付でお申し出ください。

また現在、井伊直弼のことが分かるガイドブックも作成中です。





ミュージアムショップ(売店)では、国宝・彦根屏風や関ヶ原戦図屏風のミニチュア、シール、クリアファイルなどのグッズや、過去の展覧会の図録などを販売しています。買物のみの来館の場合、入館料は不要です。

博物館利用のご案内

開館時間 8:30~17:00
 休館日 12月25日~31日のみ(展示替のため、一部展示室が休室している場合があります)
 観覧料 一般500円、小中学生250円
 市内在住の小・中学生と65歳以上の人、身体障害者の人は無料です。
 (在学が分かるもの・健康保険証・障害者手帳などの提示が必要です。)
 博物館友の会会員は、会員証で入館できます。(年会費2,000円)
 問い合わせ先
 彦根城博物館 ☎22-6100、FAX22-6520
 ホームページ
<http://longlife.city.hikone.shiga.jp/museum/>

「博物館はとっつきにくい。」「展示がよく分からない。」「と思ってしまう人にお勧めしたいのがギャラリートークです。
 月に1回変わるテーマ展を、展示会場で学芸員が解説します。企画のねらいや見どころから、展示品1点ずつのいわれまで、丁寧な説明を聞くことができます。色々な質問も飛び交い、和気あいあいとした雰囲気の中で進められます。ギャラリートークは博物館を楽しむ第一歩とも言えます。ぜひ参加してみてください。

博物館への第1歩
ギャラリートーク

の流れをたどることができ、画期的な展示として全国から高い評価を受けています。

歴史に肌で触れる

特色ある立地と外観、収蔵品を生きか、展示を観るだけでなく、日本の伝統文化を肌で感じ取ることのできる博物館を目指しています。
 例えば、江戸時代の能舞台を生かす、プロの演者による能や狂言の催し。この時期には、普段より多くの能面・能装束の展示も行っています。
 また、子どもたちが本格的なお茶を学ぶ機会として、木造棟(絵図面をもとに当時のままに再現しています)の和室を利用した「親子で楽しむお茶会体験」を、彦根茶道協会と連携して開催しています。
 市民の皆さんにも、能舞台を謡の会の発表会に、和室をお茶会などに利用いただいで好評です。

学芸員の仕事はなに？

博物館の館蔵品の保管や展示をおこなうのが学芸員です。彦根城博物館には、現在、美術品担当の学芸員4人、古文書担当の学芸員3人がいます。
 学芸員の仕事内容は、館蔵品の保存管理、館蔵品や地域文化財の調査・研究、展覧会の企

画・出品の交渉・展示・広報、博物館講座や古文書教室の講師、小・中学生への博物館教室など多岐にわたります。美術史・日本史研究者としての専門能力だけでなく、企画、展示技術、行政実務、広報、さらには教育など、幅広い能力が求められる職種です。ちなみに、『広報ひこね』の毎月1日号に「ときの玉手箱」を連載しているのも学芸員たちです。



博物館友の会ボランティア 松岡寿子さん(松原町)

博物館で展示解説ボランティアを始めて12年になります。あるとき、ボランティアの解説を聴き、私もそういうことができるようになりたいと思ったのがきっかけです。現在では、月に数回、展示品の説明などのボランティア活動をしています。

ボランティアになってよかったことは、博物館の展示品について、より深く知ることができることです。また、それが作られた背景などを知ることで、その道具を使っていた人々に思いをはせることができます。

学芸員さんと知り合うことができるのも楽しみの1つです。疑問に思ったことがあれば気軽に質問することもできます。自分が得た知識や作品に対する思いなどを、ボランティア活動のなかで、博物館を訪れてくださった人に少しでも伝えて行けたらと思っています。

類まれな歴史的重み

彦根城博物館館長 石丸正運

私はこの4月に彦根城博物館に赴任しました。この博物館は、私の40年近い学芸員生活のなかでも特別なものです。これまで、県立琵琶湖文化館、県立近代美術館、砺波市美術館(富山県)に在籍してきましたが、いずれも博物館のゆかりのないところに新設されたものです。それぞれ博物館創設の理念と目的を定め、それに基づいて博物館活動を行っ

てきました。特別史跡彦根城跡は、失われたものもありますが、400年前の城の景観を今日に伝えています。彦根城博物館が特別なのは、その要に位置し、彦根藩資料という質・量ともに充実した博物館資料を持つからです。博物館は、「見せる館」から多様な資料にかかわる情報発信の場になりつつあります。彦根城博物館の類まれな歴史的重みと、すぐれた城郭景観に恵まれた立地を生かし、観光の視点も取り入れながら、生涯学習の拠点の場として、博物館活動を行っていきたいと思います。

見どころ満載
テーマ展・企画展の魅力
美術工芸品を観るときは、目の付け所が肝心です。作られた時代、題材や文様の意味、どのように作られたか、などを調べていくと、昔の人

が何を美しいと感じたか、自然や身の周りをどのように見ていたかが分かってくる。新たな視点を博物館が提案し、館蔵品の魅力を楽しんでいただく。これがテーマ展Iです。
 テーマ展IIでは、「地域の魅力発見」をテーマに、市内の神社、地域の歴史、出身人物などにスポットをあて、地域の歴史を掘り起こします。例えば、荒神山の歴史展示で紹介した、地元で蛇岩と呼ばれる、蛇の頭の形をした巨岩。伝説によれば、天竺(インド)から荒神山を背に乗せて飛んできた蛇がこの岩になったとか。この伝説は室町時代の仏教説話集にも書かれている古いものです。地域における蛇岩への素朴な信仰が、仏教の信仰に取り込まれた歴史がとも具体的に分かります。
 市内のいろいろなところで、昔から伝えられたものを調べてゆくと、面白い歴史のテーマがたくさん見つかります。博物館が、住民の皆さんとともに地域の歴史を明らかにする。テーマ展IIでは、そんな取り組みを充実させたいと思っています。
 企画展は、日本美術史や日本史全体という、より広い視点から、彦根の資料を位置づけるものです。彦根に居ながらにして、美術の名品や歴史の重要資料を心ゆくまで鑑賞できます。『日本の楽器』展では、日本最大の雅楽器コレクションである井伊家伝来の雅楽器を中心とした数々の名品を展示しました。楽器の歴史

平成9年5月21日、スウェーデン国王カール16世グスタフ閣下と王妃をお迎えし、彦根城天守をご案内、大幅に予定時刻を超過していましたが、彦根城博物館へはぜひひとと所望され、引き続きご案内したものです。実はグスタフ3世のコレクションを集めた博物館が王宮の一部にあり、国王のご関心もここにあるのかと思つたしだいです。
 彦根城博物館は、郷土に養われた文化遺産を現代に生かした、特色のあるまち創りを進めるための拠点として、市民の皆さん、各種団体・機関から募金にご賛同をいただき、昭和62年に開館しました。以来17年を経過し、彦根藩庁であつた表御殿を復元した趣のある佇まいは、彦根の育んできた数多くの歴史・文化を紹介するにふさわしい場所として親しんでいただいています。
 平成15年度には、来館者数も開館以来約160万人を数え、市民を始め、多くの人々に対し、より良質の教育普及を目標に

紙上 22
談話室

彦根の文化遺産を、次代を担う若い世代、未来の彦根市民へ

彦根市長 中山一

様々な活動を行っています。博物館は、市民の皆さん一人ひとりに日本文化の美や、能楽・茶道などの伝統的精神に触れ親しんでいただくとともに、数多くの彦根藩の古文書が研究されるなかで、様々な新しい事実が分かってくることで、その成果を発表しているところ。私もが受け継いだ彦根の文化遺産を、次代を担う若い世代、さらに未来の彦根市民に、より充実した形で伝えて行きます。
 展示活動については、季節感を盛り込んだ常設展を開催し、月1回程度の展示替えを行っております。さらに、普及活動にも力を入れ、講座、教室、講演会を定期的に行い、歴史、文化への多様な関心にお応えできる場を提供し、「彦根城能」や「狂言を親しもう」など魅力に触れたいと思っています。今後とも私が彦根に密着した博物館を目指しています。皆さんの温かいご理解とご協力をお願いいたします。



開館時間 8:30~17:00 (入館は16:30まで) 観 ()内は30人以上の団体料金 市内在住の小・中学生と
休館日 7月の休館日はありません。 覧 一般 ... 500円(450円) 65歳以上の人、障害者の
なお、7月20日(火)~7月22日(木)は展示替のため、展示室を一部閉室しています。 料 小・中学生 ... 250円(170円) 人は無料です

テーマ展

開催中
~7月20日(火)
「譜代大名井伊家の儀礼」
年中行事や冠婚葬祭など、大名社会で繰り返し行われた儀礼を記録や絵図から紹介します。

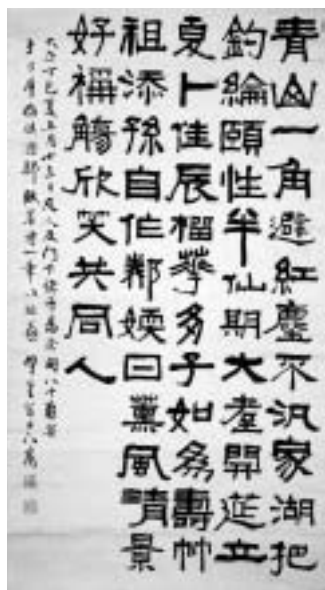


▲ 京都上使行列図・部分(当館蔵)

7月23日(金)~8月17日(火)
「書家・日下部鳴鶴と
鳴鶴をめぐる人々」
近代を代表する書家・日下部鳴鶴と、親しく交わった巖谷一六など、鳴鶴をめぐる人々を紹介します。

観覧料が必要です

ギャラリートーク
「書家・日下部鳴鶴と
鳴鶴をめぐる人々」
7月24日(土) 14:00~
博物館講堂に集合
本館学芸員 高木文恵(たかきふみえ)



▲ 80歳を祝う賀詩 日下部鳴鶴 筆

はくぶつかんへ行こうスペシャル (夏休みのスペシャル版) 参加無料

7月31日(日) (小学1~3年生) 全小学校対象
8月 1日(日) (小学4~6年生) 全小学校対象
時間 10:00~12:00 場所 館内講堂ほか
(各回30人)

「紐の結び方」は、日本文化の一つです。昔から伝えられた、楽しい紐の結び方を覚えましょう。また、毎年好評のお茶を自分で点てて飲む会や、展示室の探検もあります。

往復はがき往信の裏に、住所・名前(ふりがな)・学校名・学年・電話番号を、返信の表にも住所と名前を書いて、「はくぶつかんへ行こうスペシャル係」まで申し込んでください。(応募者多数のときは抽選)
7月23日(金)締切(当日消印有効)

展示中
「太刀 銘来国光」 初代彦根藩主井伊直政所用

子ども対象の催し

子ども狂言教室 日程

月日	備考
7月30日(金)	講師による狂言
8月 3日(火)	講師による指導
8月 8日(日)	
8月 9日(月)	
8月13日(金)	発表リハーサル
8月16日(月)	
8月21日(土)	

・時間はいずれも13:30~15:30です。
・講師による狂言は、紋付袴で行います。(正式な衣装ではありません。)
・発表披露会当日には、県立大学能楽部員による発表もありますので、あわせて鑑賞できます。

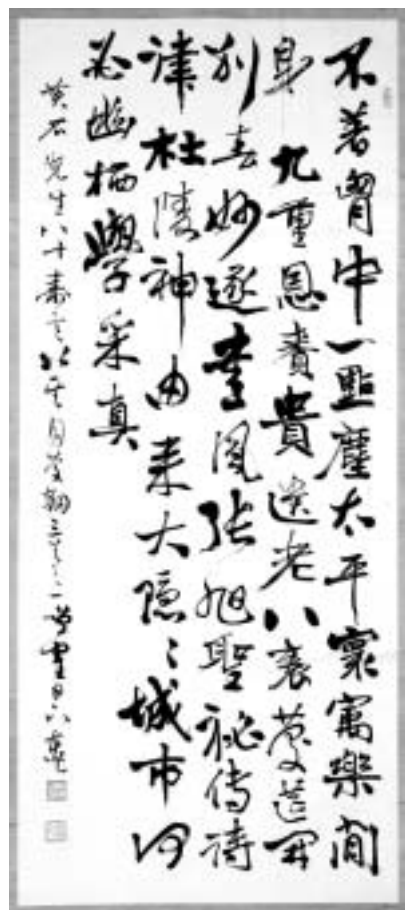
狂言は、日本の誇る伝統芸能であると同時に、現代喜劇にも通じる「斬新な」表現や技法が魅力です。
この教室では、プロの狂言師から狂言の基本を学び、最終日には彦根城博物館能舞台で、練習の成果を発表してもらいます。
内容 所作(狂言の動き)などを中心に、狂言の基本を学習し、実際に狂言を演じます。
日程 左の表のとおり
場所 彦根城博物館(能舞台・講堂)

講師 和泉流狂言師 小笠原匡さんほか、市内と多賀町に在住の狂言師
対象 市内の小学5、6年生
定員 20人(先着順)
受講料 無料
その他 筆記用具と白足袋を持つてきてください。
申込期限 7月16日(金)
申込方法 各小学校に配布する申込用紙に必要事項を書いて、彦根城博物館に持参してください。電話・ファクスでも受け付けます。
申込・問い合わせ先 彦根城博物館(金亀町) TEL 22-6100 FAX 22-6520番

伝統的な「笑い」の世界に触れてみませんか? 子ども狂言教室 受講生募集

幕末維新の彦根の偉才 漢詩人・岡本黄石と書家・日下部鳴鶴との交流

岡本黄石(1811~1898)は、幕末・維新期の彦根藩の家老として、藩主井伊直弼が暗殺された桜田事変後の藩の混乱をとりまとめた人物としてつとに有名です。しかし一方で、彼が優れた漢詩人であったことは、今日ほとんど知られていません。明治元年(1868)、彼は、藩主直憲より新政府の代議員として推挙されますがこれを固辞、家督を息子に譲って隠居し、詩を詠むことを専らと



岡本黄石80歳を祝う詩 日下部鳴鶴 筆

する身となりました。ときに58歳のことで、

黄石は、詩壇の中心的な存在であった梁川星巖(1789~1858)に若くしてその才を認められていました。これは、星巖門人の漢詩集の発刊にあたって、黄石の詩が巻頭を飾ったことから明らかです。

維新後しばらくは彦根の芹川近くに隠棲しましたが、明治4年(1871)

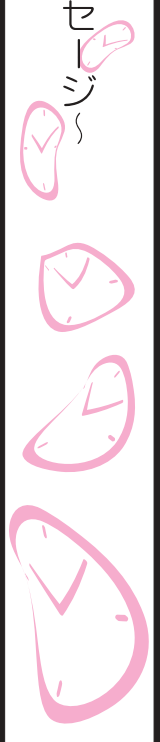
には京都に居を移し、京都と東京を拠点にして全国各地を遊歴。同15年には東京の麹町平河町に移りました。当時平河町には、やはり彦根藩出身の日下部鳴鶴(1838~1922)が居を構えていました。
このとき黄石72歳、鳴鶴45歳。実に27歳の年齢差がありますが、郷里を同じくする者として2人が既に知己の間柄であったことは、黄石が自らの家を得る前に、鳴鶴の邸に一時身を寄せていたことからも分かります。顔を会わせる機会が多くなったことで、その親密度は増したことでしよう。鳴鶴は書家として出発して間もない時期で、日本近代を代表する大書家と認識されるのもう少し後になってからのことです。
同16年(1883)、黄石は、73歳にして居宅に漢詩の結社・菊坊吟社を開き、そこに鳴鶴は多くの門人の一人として参加します。門人はほかに、巖谷一六、谷鉄臣、金井金洞、田中光興、村駒雨など、そうそうたる顔ぶれでした。吟社では、杜甫や蘇軾など、おもに中国の唐宋時代の詩を選び、評註を加えるなどの方法で勉強がおこなわれました。鳴鶴の作品のほとんどは漢詩の書であるため、

ここでの学習が自らの詩作に少なからぬ影響を与えたことでしょう。
そして明治25年(1892)5月11日、東京の八百松楼において、黄石の80歳の長寿を祝う宴が盛大に開かれました。写真は、鳴鶴がその祝いのために揮毫した作品です。ここで鳴鶴は、黄石は胸中に一点の塵もなく、町中に居ながらにして優れた隠者であることを褒めたたえています。
当時の文化人は、現代よりも遙かに人との交流を重視します。交流の場が作品発表の場となり、交流することによってお互い触発されるわけで、実力・評判を兼ね備えた人は、人とのつき合いの才能も持ち合わせていたともいえるのです。
黄石と鳴鶴も、お互い新春に詠んだ漢詩文の遣り取りをおこなったり、共同で一つの作品を作り上げたりと、交流による多くの作品を遺しています。
(彦根城博物館学芸員 高木文恵)

写真の作品は、彦根城博物館テーマ展「書家・日下部鳴鶴と鳴鶴をめぐる人々」で7月23日(金)から8月17日(火)まで展示をします。

とぎの玉手箱

博物館からのメッセージ

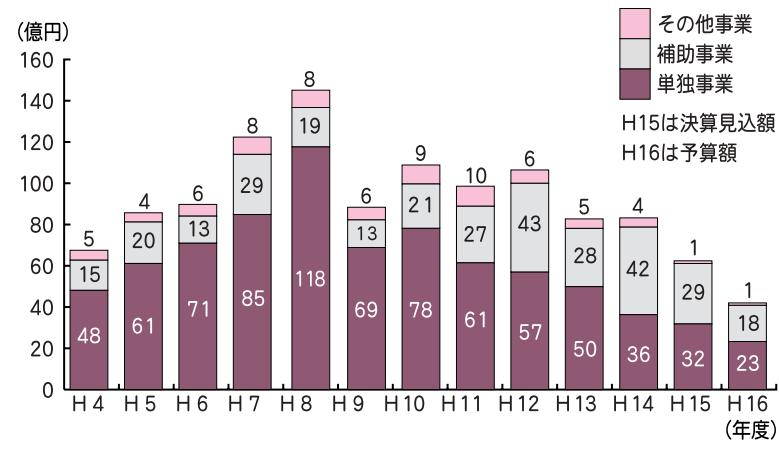


細る財源 膨らむ需要②

前号では、歳出に占める各経費の内訳と、その中で義務的経費の割合が年々増加し、その結果市の裁量で行う経費を減らさなければならなくなっている状況をお伝えしました。この市の裁量で行う経費の主なものに、道路や公園、建物などの公共施設の整備等に使われる投資的経費があります。

今回は引き続き、歳出（支出）について、そのなかの投資的経費と繰出金についてお伝えします。

グラフ1 投資的事業に要する費用の推移



投資的経費と繰出総額に占める割合

平成4年度 68億円(25.3%)
 ↓
 平成16年度 42億円(12.6%)

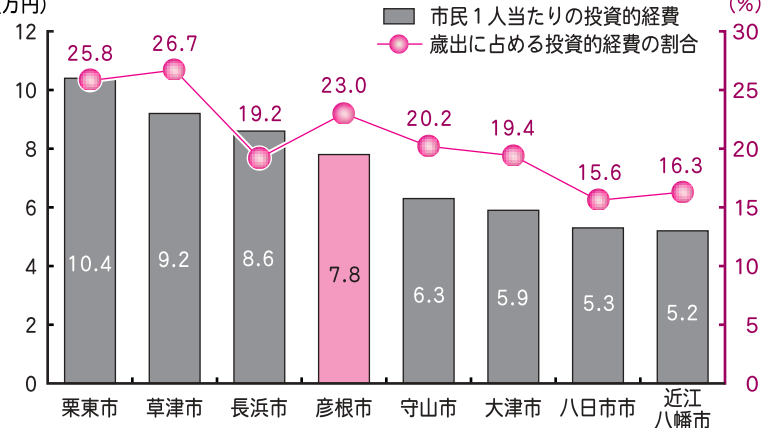
投資的経費の年次別の推移を見ると、平成8年度をピークに減少傾向にあります(グラフ1)。

投資的経費には、国の補助を受けて行う補助事業

と、市が独自で行う単独事業とがあります。このなかでも単独事業費は、平成4年度の48億円と比べて、今年度は23億円と約半分、最も多かった平成8年度の118億円と比較すると、実に5分の1にまで減少しています。また、補助事業なども含めた投資的経費全体の、歳出全体に占める割合についても、前号でお知らせしたように、平成4年度の25・3%から、今年度は12・6%にまで低下しています。

投資的経費など、市の裁量で行う事業の割合が減少するということは、財政が柔軟さが失われ、融通が利かなくなることを意味します。つまり、それだけ市民のニーズにあった、彦根市独自の事業ができなくなるのです。

グラフ2 8市の投資的経費の状況(平成14年度)



市民1人当たりの投資的経費

平成14年度 約7万8千円
 (県下8市中4位)

投資的経費は、どの市でも年次の計画に基づいて行つたため、年度によって事業費に差が出ます。また、道路や学校は、その都市で、どの程度整備が終わっているかによっても差が出ます。投資的経費について、県内

8市の平成14年度の状況を比較してみると、栗東市の10万4千円を最高に、彦根市は7万8千円と4位となっています(グラフ2)。

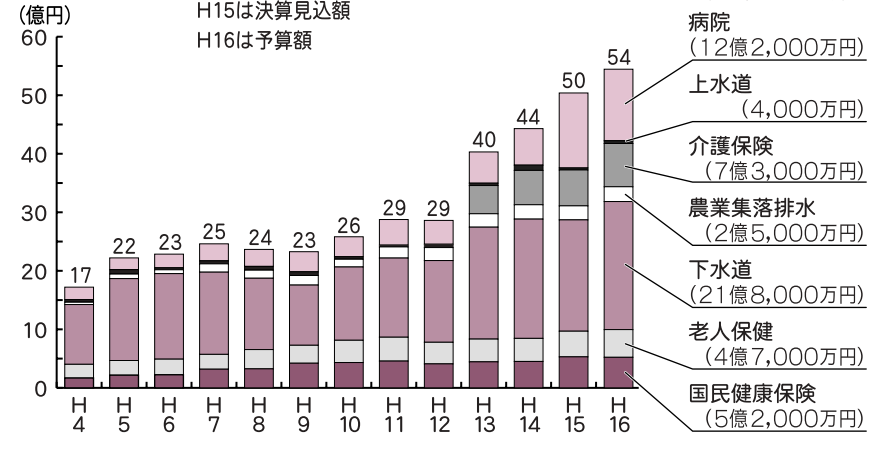
投資的経費は、私たちの生活基盤を整備し、生活の質を高めたいくうえで必要なものです。しかし、現在のうちに、財源が細ったなかでは、当初予定していた事業の実施計画を、少し遅らせるといった事業の進捗調整や、複数の事業のなかから、どの事業を優先して行つていくのか「あれか、これか」の選択が必要な局面になっています。

繰出金の増加と繰出総額に占める割合

平成4年度 17億円(6.5%)
 ←
 平成16年度 54億円(16.3%)

歳出のうち義務的経費と並んで、近年大きく増加している経費が特別会計などへの繰出金です。繰出金は、一般会計から特別会計や企業会計へ、法律などに基づいて支出するお金です。繰出金は、その会計の性質上、事業に伴う収入で行うには適当でない経費や、能率的な経営を行つても、なおその会計の収入だけでは客観的に経営が困難な

グラフ3 特別会計等への繰出金の推移



主な投資的経費

事業名	平成4年度	平成16年度
道路整備事業 (都市計画道路含む)	13億3,700万円	4億7,300万円
河川改良事業	2億3,200万円	1億 200万円
都市計画公園整備事業	2億8,100万円	5,400万円
公営住宅整備事業	5億5,100万円	6,400万円
小学校校舎等整備事業	3億2,100万円	10億6,200万円
中学校校舎等整備事業	4億1,300万円	3,600万円
南老人福祉センター建設事業	2億 500万円	—
消防北分署新設事業	4億5,700万円	—
駅東土地区画整理事業	—	6億9,300万円
本町地区街なか再生土地区画整理事業	—	1億6,000万円

場合などに支出することになっています。

この繰出金の年次別の推移を見てみると、平成4年度の17億円から、今年度には54億円と3倍以上に増加しています(グラフ3)。特に、下水道事業への繰り出しは、平成4年度の10億円から、平成16年度では22億円と、最近の積極的な下水道整備に伴い大きく増加しています。一方、彦根市の下水道普及率は59・7%(15年度末)と県内の

ほかの都市と比べてもまだまだ低いのが現状です。(参考…大津市93・1%、守山市89・7%、草津市86・7%、栗東市85・1%、長浜市70・1%、八日市市64・3%、近江八幡市50・7%【いずれも14年度末数値】)。

この下水道整備について、計画どおり整備を進めると、今後さらに多額の支出が見込まれます。財政状況が厳しいなか、早期に整備が求められる下水道事業も、事業の進捗調整が必要になってきています。

その他、市立病院の建設に伴う支出(主に企業債)＝病院で借入れたお金の返済分)や給

付費に連動する老人保健事業や介護保険事業への支出など、特別会計などへの繰り出しは、今後も増加することが予想されます。このままでは投資的経費など市独自の事業がますますできなくなりそうです。

「広報ひこね」6月1日号6ページ「ゆとりの無い市財政」記事で、市民1人当たりの基金残高が誤っていました。おわびするとともに、誤りのあった本文冒頭部分を訂正して再掲します。

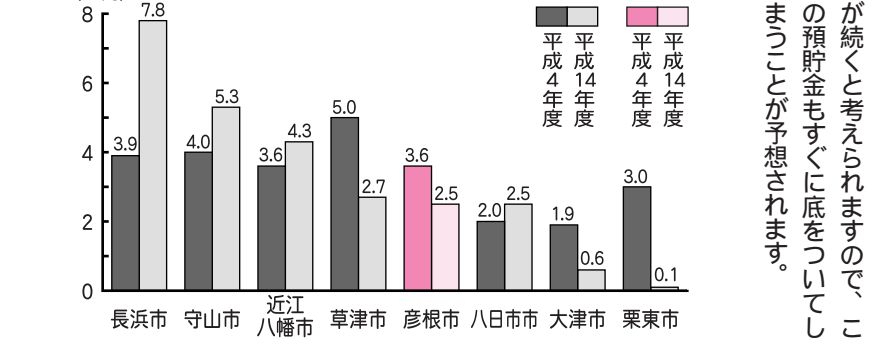
おわびと訂正

これを市民1人当たりの金額に置き換えてみると、平成4年度末に約3万6千円あった預貯金が、平成16年度末には約2万1千円に減ってしまうこととなります。

また、県内8市の中で、この市民1人当たりの基金残高(平成14年度末)を比べてみると、長浜市の7万8千円を最高に本市は5番目となっています(グラフ2)。

今後さらに厳しい財政状況が続くと考えられますので、この預貯金もすぐに底をついてしまつことが予想されます。

グラフ2 市民1人当たりの基金残高の比較 (財政調整基金+減債基金)





ひこね市文化プラザ ☎26-8601
FAX 26-8602
URL http://longlife.city.hikone.shiga.jp/plaza/
7月の休館日: 5(月)・12(月)・20(火)・26(月)

マーク: 託児サービスがあります。(要予約)
※公演日の1週間前までにご予約ください。
マーク: 公演終了後、彦根駅行き・南彦根駅行きの臨時バスの便があります。

チケットのお申し込み、お問い合わせは
チケットセンター ☎27-5200

9月10日(金) 13:30~16:30 【2回公演】
「みんないいこだよ。」ファミリーシアター
しまじろう うみの だいぼうけん
指定 1,300円 ※3歳以上有料 【好評発売中】
(3歳未満でも、お席が必要な場合は有料)

9月 10月3日(日) 15:00~
森 麻季 ソプラノ・リサイタル
指定 3,500円
【7月4日(日)発売開始】

10月14日(木) 19:00~
鼓童 ONE EARTH TOUR
指定 1階席 4,000円
2階席 3,000円
【7月18日(日)発売開始】

10月16日(土) 19:00~
辻本明子 ジャズカルテット
自由 2,000円 【7月18日(日)発売開始】

彦根城博物館能舞台

7月24日(日) 18:00~
夕涼み 狂言に親しもう
☆演目・種目: 大蔵流 狂言「佐渡狐」茂山 茂ほか
大蔵流 狂言「延命袋」茂山千作ほか
大蔵流 狂言「神鳴」茂山千三郎ほか
指定 A席2,500円 B席2,000円 【好評発売中】
※入場券窓口販売所: ひこね市文化プラザチケットセンター

ひこね市民大学講座



丸山和也さん (弁護士)
「法こそ自己実現の味方だ」



福岡政行さん (白鷺大学教授)
「時代の潮流を読む」

9月18日(土)13:30開講 10月16日(土)13:30開講
自由 4,000円(2講座) 【好評発売中】

子どもセンター ☎28-3645
FAX 28-3645
URL http://longlife.city.hikone.shiga.jp/children/
7月の休館日: 5(月)・12(月)・20(火)・21(水)・26(月)

13日(火) 14:00~14:30 【参加無料】
「おはなし図書室」
☆絵本の開き読みをします。

23日(金) 19:00~21:30 【悪天候の場合は、24日(土)に順延】
第3回天体望遠鏡「夏の星座より」
-夏の三角から夏の星座をさがそう-
☆夏の三角から夏の星座をさがします。
また、天体望遠鏡や双眼鏡を使って、夏の夜空に
くれた星雲・星団を観望
します。
☆参加費: 300円(小学3
年生以下は無料)
※開催当日、16:30以降
に開催の有無をお問い合
わせのうえご来館くださ
い。



28日(水) 9:30~16:00 【受講生募集中!!】
子ども自己探検教室「すけっちスケッチ」
☆建築物や風景をスケッチします。

31日(土) 9:30~21:00 【受講生募集中!!】
天体望遠鏡講座「自作望遠鏡で月を見よう!!」
☆工作キット「40mm屈折式望遠鏡」をひと工夫しながら
自作し、実際に天体観望を行います。

1日(日) 9:30~15:00 【受講生募集中!!】
子ども工作道場「ライトスタンドづくり」
☆自分で工夫しながら、オリジナルライトスタンドを
完成させて、工作の楽しさ・喜びを味わいます。

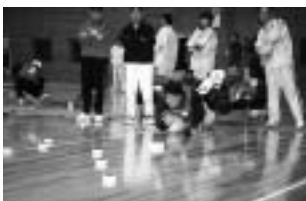
申込方法などは、「広報ひこね」6月15日号12ページをご覧ください。
《申込期間: ~7月11日(日)》

市民体育センター ☎23-2293
FAX 23-2294
URL http://longlife.city.hikone.shiga.jp/sports/
7月の休館日: 6(火)・13(火)・20(火)・27(火)

18日(日) 13:30~16:00
フレッシュスポーツデー

☆広々とした第1競技場を使って誰でもできる楽しいニユースポーツを紹介します。お気軽にご参加ください。

☆予定種目: スーパーカラム(写真)
ダブルタッチ
ティーボールほか
☆参加費: 小学生以上1人200円(当日、受付でお支払いください。)
※運動のできる服装で、体育館シューズを持ってご参加ください。



7月は「社会を明るくする運動」強調月間です

ふれあいと 対話が築く 明るい社会

「社会を明るくする運動」は、すべての国民が犯罪や非行の防止と罪を犯した人たちの更正について理解を深め、それぞれの立場において力を合わせ、犯罪や非行の

ない明るい社会を築こうとする全国的な運動です。
青少年の非行防止と更正への援助のため、皆さんの理解と参加をお願いします。

第54回社会を明るくする運動
「作文・中学校」 利川純子さん(西中3年)
「福祉はみんなにある」
「標語・一般」 佐古徳子さん(地蔵町)
「標語・小学校」 中野美咲さん(城東小5年)
「ゲームじゃないよ 犯罪だ」
「標語・中学校」 若松 希さん(彦根中3年)

第54回社会を明るくする運動
青少年健全育成
彦根市大会
日時 7月4日(日)午後1時~同4時
場所 ビバシティ彦根
ビバシティホール
内容
オープニングセレモニー 県警音楽隊による演奏(1階センタープラザで)
ビデオ放映「おはようそしてありがとう」
標語・作文 特選者の表彰
作文 特選・入選作品の発表
講演 子どもの教育に夢と希望を込めた夢ある子どもの教育
講師 宇佐美寛了さん
講師プロフィール
子ども・親・社会人一般にわたる人づくりを指導する学校教師。
教壇に立ちながら、教育活動は学校だけでは成り立たないという信念から、家庭教育・社会教育にも長年にわたる力を入れて活動している。
献身的で実績ある社会貢献で、実学重視の米田イオンド大学より名譽学位として教育学博士が授与された。著書に「誰が子どもの将来に責任をとるか」「子どもをグングン伸ばす親」「ステキなお母さんの子育て法」など多数

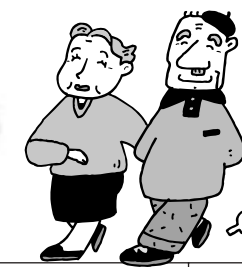
立ち直りをめざす青少年に
総合的な支援システム
「あすくる彦根」

非行を犯してしまった、家庭や学校で居場所がないなど、問題や悩みを抱える少年には、見守りや励ましだけでなく、適切な支援が必要です。4月に少年センター内に開設された「あすくる彦根」は、問題を抱える中学生から成人するまでの青少年を対象に支援を行います。
少年たちは、それぞれに問題を抱えていて必要な支援は一人ずつ違います。「あすくる彦根」では、「支援コーディネーター」が、少年一人ひとりにあった支援プログラムを作成

します。作成するときには、本人や保護者と相談するほか、心理臨床の担当者もかわりながら、必要な支援を探っていきます。
支援のメニューは、カウンセリング、学習支援、就労支援、生活改善などさまざまです。支援の実施は、学校や関係機関・企業などと連携しながら、少年センター内で行います。
「あすくる」という名称には「子どもたちに明るい明日がくるように」という願いが込められています。少年センターや、学校など関係機関を通じて、気楽にご相談ください。
問い合わせ先 少年センター(尾末町1-38 彦根市民会館内) ☎24-9140

7月は、青少年の非行問題に
取り組む強調月間です

地域のなかの子どもたちをときには、ほんの少し関心を持って見つめてください。
「何をしているのかな?」「どんな遊びをしているのかな?」大人がそういう心を持っているだけで、子どもたちは守られているのです。成長していく子どもたちを温かい目で見つめながら、地域の子どもを育てていきましょう。
問い合わせ先 教育委員会青少年課 ☎24-7971、FAX23-9190



湖国から
広がる笑顔
地域のきずな

9月25日(土)・26日(日)、 第13回全国ボランティア フェスティバルびわこ開催

総合会場は大津、
彦根もブロック会場に

全国からボランティア・市民活動
に関心のある人や実践している人が
集い、交流を深め、活動の広がりや
活性化を目指します。参加申込は、
7月23日(金)まで受け付けています。

ボランティアフェスティバルを みんなで盛り上げよう

◆びわちゃんフォトメッセージ募集
「私のほほえみ・あなたのほほえみ」
をテーマにした写真を募集しています。

◆ボランティア運営スタッフ募集
フェスティバル当日、運営補助を
するボランティアを募集しています。

問い合わせ先 ボランティアフェス
ティバルびわこ実行委員会事務局
☎077-567-3924
FAX077-567-5160

開催パンフレットは、彦根市社会福
祉協議会(平田町)☎22-2821、(市)
福祉事務所☎23-9590にあります。

今年になって、コイヘルペス
病によるコイの死亡が県内各地
でも確認されています。自然環
境の保全や、漁業被害の拡大を
防止するため、次のことを守っ
て病気のまん延を防ぎましょ
う。

農政課

コイヘルペス病について
お知らせとお願い

びわ湖や川で釣ったり捕ま
えたりしたコイをほかの川や池
などに放さないでください。
飼っているコイもびわ湖や川
などに放さないでください。
死んだときは、燃えるごみと
して出すなどして、川や池な
どに捨てないでください。
びわ湖や川などでコイが死
んでいるのを見つけたときは、
左まで連絡してください。
コイヘルペス病は、コイだけ
に感染する病気で、ほかの魚
や人にはうつりません。この
病気にかかったコイにさわ
ったり、食べたりしても大丈夫
です。

連絡・問い合わせ先 水産課
077-528-1387
1番 水産試験場(20)161
2番 湖東地域振興局(27)
3番 農政課(22)1
4番 1番内線317番、FAX
X(24)9676番

2004年市町村振興宝くじ 1等・前後賞合わせて サマージャンポ3億円

この宝くじの収益金は県内の売上実績により配分され、
市町村の明るく住みよいまちづくりに使われます。
宝くじはぜひ県内でお買い求めください。

●発売期間 7月12日(月)～同30日(金)
●抽選日 8月10日(火)



はーとふるメッセージ2004

人権の大切さを訴える
あなたのメッセージ

「身近な人権にかかわるいろいろな思いや話」「地域や
職場・学校など、人とのふれあいの中で感じたこと」「普
段の生活の中でやさしい気持ち・温かい気持ちになったこ
と」「差別のない明るいまちづくりを目指して実践してい
ること」……など、あなたの思いや考えを訴える作品を募
集します。

同和問題をはじめ、女性、子
ども、高齢者、障害者、外国人など
への人権侵害や、さまざまな課題
に対して人権の大切さを訴える
「はーとふる(心のこもった)メッ
セージ」をお寄せください。

◆作文 おおむね800字以上1200字以内(作文、感想
文、詩、エッセイ、手紙など、表現方法は自由)

◆標語 用紙は自由

◆ポスター 38cm×54cm(四つ切の大きさ)の画用紙な
どに、人権啓発のメッセージを入れてください。(用紙の
向きは自由)

応募資格 市内に在住・在学・在勤の人

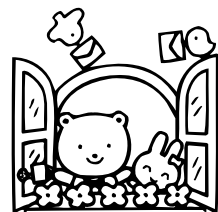
応募の決まり 作品には必ず「題名、住所、名前(ふりが
な) 電話番号」を書いてください。市内の小・中学校、
高等学校、事業所などを通じて応募する人は、学校名ま
たは事業所名も書いてください。応募点数は、各部門ご
とに1人1点とします。

応募作品は未発表のものに限り、原則として返却しま
せん。また、入賞作品は、主催者に帰属するものとしま
す。「入賞作品集」の作成に際して、作品の一部を修正す
ることがあります。

賞 各部門ごとの入賞者に記念品を贈ります。

応募期限 12月10日(金)

応募・問い合わせ先 (市)人権政策課(☎522-8501)
☎22-1411(内線352) FAX22-1398



国民健康保険 老人保健

医療費の負担額の 減額制度をご存知ですか

① 入院したときの 食事代の負担額を 減額します

国民健康保険に加入している人や、
老人保健法の適用を受けている人で、
市民税非課税世帯などの人が入院し
た場合に、食事代の標準負担額を減
額する制度があります。

(表1のB、Cに該当する人は、申
請が必要です)

表1 入院時の食事代の負担額

区	分	1日当たり 標準負担額	
A	一般(B、Cのいずれにも該当しない人)	780円	
B	市民税非課税世帯などに属 する人 (Cに該当する人は除く)	過去12か月間の入院期間が 90日までの人(長期非該当者)	650円
		過去12か月間の入院期間が 90日を超える人(長期該当者)	500円
C	市民税非課税世帯などに属する老齢福祉年金受給者 または全員の課税所得が0円の世帯に属する人	300円	

申請が必要です

② 70歳以上の人の医療費の 自己負担額を減額します

国民健康保険前期高齢者(国
民健康保険に加入している70
~74歳の人)や老人保健の適
用を受けている人で、市民税
非課税世帯などの人の入院・
外来での自己負担限度額を減
額する制度があります。(表
2のとおり)

表2 70歳以上の人の自己負担の上限(月額)

区	分	外来 (個人ごと)	外来+入院 (世帯の合計)
一定以上 所得者	市民税の課税所得が124万円以上の高齢者と、 その人と同じ世帯に属する高齢者	40,200円	72,300円+(医療費のうち、 361,500円を超えた分の1%) ただし、過去12か月間に、3回以上この 限度額に達したとき、4回目以降の限度 額は40,200円
一般	一定以上所得者・低所得者I・低所得者IIの いずれにも該当しない人	12,000円	40,200円
低所得II	市民税非課税世帯の人	8,000円	24,600円
低所得I	市民税非課税世帯に属する老齢福祉年金受給者 または全員の課税所得が0円の世帯に属する人 例:年金収入のみの1人世帯では、収入額が約 65万円以下	8,000円	15,000円

申請が必要です

現在すでにこれらの減額制度
を利用している人は、有効期
限が7月31日(土)までとなっ
ており、8月以降も減額の継
続を希望する場合は、再度申
請の手続きが必要です。

申請窓口

(市)保険年金課(市役所1階⑤番
窓口)、支所・各出張所

申請に必要なもの

国民健康保険に加入している人

▶国民健康保険被保険者証、前期
高齢者はその受給者証、認め印、
長期入院該当者は病院の領収書、
継続して申請する人は7月末ま
での認定証

老人保健の適用を受けている人

▶老人保健医療受給者証、健康保
険被保険者証、認め印、長期入
院該当者は病院の領収書、継続
して申請する人は7月末までの
認定証

問い合わせ先

(市)保険年金課☎22-1411(内線
136)、FAX22-1398

聞いて見て「城下町彦根の文化財」

「ひこねの近代化遺産」をテーマに、彦根のまちを実際に歩いて文化財に触れる学習をしてみませんか。

テーマ ひこねの近代化遺産 年間3回講座
対象 地域の歴史や文化に興味がある市内在住の小学生以上の人（小学生は保護者同伴）

原則として3回通して参加できる人を募集しますが、定員に満たない場合は1回ごとの参加も受け付けますので、お問い合わせください。

定員 50人（先着順） 参加費 無料

申込期限 7月20日（火）（必着）

日程・内容

回	日時	内容
1	7月24日（土） 9:30~12:00	近代化遺産についての事前学習、滋賀大学講堂・陵水会館などの見学
2	8月21日（土） 9:30~12:00	俳遊館（旧・彦根信用金庫本店）などの見学
3	9月18日（土） 9:30~12:00	中村商家保存館、近江鉄道電気機関車などの見学と学習のまとめ

集合場所 いずれも市民会館（尾末町）

申込・問い合わせ先 はがきかファクスで 参加者名 学年・年齢 住所・電話番号 参加を希望する回を書いて 教育委員会文化財課（〒522-0001 尾末町1-38）FAX26-5899へ。電話26-5833、教育委員会ホームページ <http://edu.city.hikone.shiga.jp/>でも受け付けます。

日時 7月31日（土）午前9時30分～午後4時30分（市役所前に午前9時20分までに集合） 雨天

ネイチャーアドベンチャー

びわ湖、多景島 内容 環境セミナー船でのびわ湖の水質調査や多景島の自然観察など 対象 小学生とその保護者 定員 各20人（先着順） 参加費 大人2000円、小学生以下1000円（多景島入島料） 持ち物 筆記用具、水筒など 動きやすい服装で参加してください 申込期間 7月5日（月）～申込方法・問い合わせ先 電話で快適環境づくりをすすめる会事務局（生活環境課内）☎22-1411 1番内線172番、FAX☎27-0395番（FAXでの申込は不可）

のときは中止 活動場所 男鬼町 内容 植物、昆虫、野鳥、水生生物などの観察や工作 対象 小学生以上（小学4年生以下は保護者同伴） 定員 40人（先着順） 参加費 1人500円 持ち物 水筒、タオル、ビーチサンダル、簡易雨具、帽子、筆記用具、虫除けスプレー、おにぎり、箸、皿など その他 必要に応じて市役所から現地への移動手段として公用車を準備しますが、チャイルドシートがついていませんので、6歳未満の子どもが同伴するときは自家用車で現地へ移動してください 申込期間 7月5日（月）～ 申込・問い合わせ先 快適環境づくりをすすめる会事務局（生活環境課内）☎22-1411 1番内線172番、FAX☎27-0395番

親子くらしの体験セミナー

内容 子どもたちの好きな食品の成分を調べ、健康づくりに役立てます 日時 7月22日（木）同23日（金）の各1午前10時～正午、②午後1時30分～同3時30分（4回開催） 場所 消費生活センター（市役所西隣） 対象 小学4～6年生とその保護者 定員 各回10組（先着順） 参加費 無料（ポテトチップス・インスタントラーメン・ジュース・スポーツ飲料、牛乳などから2点を持参してください） 申込期限 7月20日（火） 申込方法・問い合わせ先 電話かファクスで名前、住所

電話番号、希望日時、調べてみたい食品を同センター分室 ☎077-156314584番、FAX077-156610593番へ

「ひこねエコマーケット」『夢畑』出店者

内容 家庭で使わなくなったものや手作り品を必要とする人に提供して環境にやさしい生活を目指します 日時 7月18日（月）午前10時～午後2時（雨天のときは中止） 場所 大手前公園（金竜町） 出店料 1ブース500円 申込期限 7月12日（月）（ただし、160ブースで締め

第4回市民囲碁大会

日時 7月25日（日）午前9時～午後4時 場所 困老人福祉センター（開出今町） 対象 市内に在住で囲碁のできる人 参加費 1,000円（当日受付で支払い、昼食代込み） 申込期限

学校開放講座

彦根西高等学校 書道教室「書に親しむ」 日時 9月25日、10月2日、10月16日、10月30日、11月6日（すべて土曜日・全5回）の午後1時～同4時15分 場所 彦根西高等学校（池州町） 受講料 3,000円 定員 30人（先

パソコン講習会

（ワード・エクセル中級） 日時 7月27日（火）～同30日（金）の午前9時～午後4時（初日のみ午前10時～午後5時） 場所 ひこね燦ばれす 対象 求職中の、4日間とも参加できる人で、ワード・エクセルの基本操作ができる人 参加費 無料 定員 15人（応募者多数のときは抽選し、当選者に7月26日までにしがきで連絡） 申込期限 7月22日（月）午後3時（必着） 申込方法・問い合わせ先 ハローワーク彦根などにある申込用紙に必要事項を書いてファクスが郵送でジョブステーション草津パソコン講習係（〒525-0032 草津市大路一丁目1-1 エルティ932内）FAX077-1566617590番へ。電話077-156617420番でも受け付けます

生涯学習通信講座

《各5回シリーズ》

講座Ⅰ 歴史発見講座

- 「近江・彦根と石田三成」
①豊臣政権と近江・彦根
②佐和山城と石田三成
③石田三成の治世
④石田三成の家族
⑤関ヶ原の戦いと佐和山落城

執筆講師 = 京都橘女子大学 文学部講師（彦根市史執筆委員）伊藤真昭さん

講座Ⅱ 現代教育講座

- 「子どもの心と向き合う心理学」
①家庭の中の子ども(1)
②家庭の中の子ども(2)
③「虐待」がもたらすもの
④不登校を考える(1)
⑤不登校を考える(2)

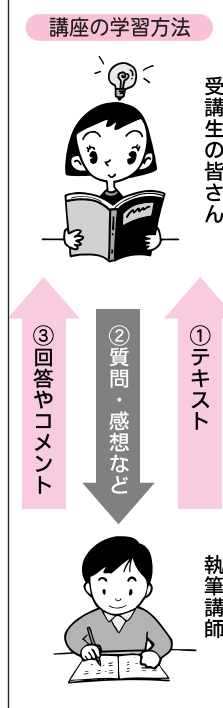
執筆講師 = 聖泉大学人間学部 心理学教授 高橋 宗さん

受講資格 市内に在住、在勤、在学の人 定員 各講座50人（申込者多数の場合は抽選）

費用 各講座2,000円（テキスト代） 講座開始 9月

申込期限 7月31日（出）（消印有効）

申込方法・問い合わせ先 往復はがき往信の裏に「生涯学習通信講座受講申込」、希望講座名、郵便番号、住所、氏名（ふりがな）、年齢、電話番号を、返信の表にも郵便番号、住所、氏名をそれぞれ書いて、教育委員会生涯学習課通信講座係（〒522-0001 尾末町1-38）☎24-7971、FAX23-9190へ。



親子手作りパン教室

日時 8月7日（出）の 午前9時～午後0時20分 ②午後1時30分～午後4時50分（2回開催） 場所 困男女共同参画センターウイズ（平田町・旧働く婦人の家） 対象 市内在住の小学生とその保護者 定員 各回15組（先着順） 受講料 1組1,500円（材料費含む） 託児 0歳～就学前（無料、要予約） 募集期間 7月1日（木）～7月21日（水） 申込方法・問い合わせ先 電話かファクスで同センター ☎24-3529番（FAX共用）へ

夏休み親子施設見学会

日時 7月26日（月） 8月12日（月）いずれも午前7時20分集合～午後3時40分ごろ解散 見学会 施設 市役所・彦根総合庁舎 卸売市場・園視覚障害者センター・子どもセンター（昼食）・清掃センター・消防本部 マイクロバスを使用 持ち物 弁当、水筒、筆記用具、帽子、敷物など（カメラ持参自由） 対象 市内在住の小学生（中・高学年）とその保護者 定員 各回25人（先着順） 参加費 無料 受付期間 7月5

親子環境教室

日時 7月22日（木） 午前10時～正午、午後0時40分～同2時40分（は午前9時50分までに彦根港に集合） 天候により中止する場合があります 場所

市職員を募集します

職種 初級・消防 人員 2人 職務内容 消防業務（深夜を含む交代制勤務） 受験資格 昭和53年4月2日から同62年4月1日までに生まれた人 受付期間 8月23日（月）～9月8日（水）（土・日曜日は除く）の8:30～17:15（郵送の場合は9月8日の消印有効） 試験日 9月19日（日） 問い合わせ先 困人事課 ☎22-1411（内線455） 困消防総務課 ☎22-0314

行 事 名	日 時	場 所	内 容・問 い 合 わ せ 先 等
浮世絵風美人画 藤本靖雄原画展 (馬淵芳夫氏所蔵)	7月1日(木)~8月30日(月) 8:30~17:00	高宮駅コミュニティセンター (ギャラリー)	入場料:無料 高宮駅コミュニティセンター☎22-1963(馬場方)
高宮トールペイントサークル 暮らしの潤い トールペイントサークル展	7月1日(木)~8月30日(月) 8:30~17:00	高宮駅コミュニティセンター (ホール)	
七夕祭り	7月8日(木) 17:30~20:30	滋賀大学経済学部構内 大学会館前広場 (馬場一丁目)	内容:屋台、バルーンアート、ヨーヨーすくい、ビンゴゲーム、 スイカ割り(いずれも予定)など。浴衣での来場を歓迎します 滋賀大学彦根地区生活協同組合☎24-3256
「世界を楽しもう」第1回 バン格拉デシュ	7月10日(土) 10:00~11:30	彦根市民会館 (尾末町)	内 容:バン格拉デシュの生活や文化などについての話を聞きます ゲスト:ジアウル・アベディンさん 参加費:無料 ひこね国際交流会VOICE☎・FAX23-5517(丹下方)
彦愛犬自然観察会	7月11日(日) 9:00~12:00	多賀町・栗栖 (野鳥の森駐車場に) (8:50までに集合)	内 容:水生生物の観察 対 象:子どもから大人まで 持ち物:筆記用具、ハイキングのできる服装 参加費:100円(傷害保険料) 野鳥の森ビジターセンター☎48-0121
第19回滋賀県理学療法学会 市民公開講座	7月11日(日) 13:20~15:30	滋賀県立大学 人間看護学部第2中講義室 (八坂町)	特別講演:障害の克服をめざして-リハビリテーションに役立つ心理学 講 師:松本行弘(ゆきひろ)さん(滋賀県立大学人間看護学部教授) 参 加 費:無料 第19回滋賀県理学療法学会準備委員会(彦根市立病院リハ ビリテーション科内)☎22-6050(内線1510)
彦根市ファミリー・サポート・センター 提供会員入会説明会	7月16日(金) 10:00~11:00 14:00~15:00	彦根市男女共同参画センタ ーウイ ズ (平田町・旧働く婦人の家)	ファミリー・サポート・センターは、地域で育児や介護の援助をし たい人と受けたい人が会員となって助け合う有料の会員組織です ☎ファミリー・サポート・センター☎24-3920(FAX共用)
健康づくり遊びの空間	7月17日(土) 10:00~15:00	庄 塚 公 園 グ ラ ウ ン ド (開出今町)	スポーツ(グラウンドゴルフ、スカイクロス、輪投げなど)・健康チェ ック(血圧測定・体力測定・健康相談など)・3世代参加で粗品進呈 彦根市老人クラブ連合会事務局☎・FAX23-1506
和紙折り紙教室	7月18日(日) 13:00~	自然の布館より一な (河原二丁目) ☎23-2035	テーマ:睡蓮(すいれん) 講 師:野村和子さん 材料費:1,500円 持ち物:はさみ、定規、ポンド、竹べら 定 員:30人(先着順、電話でお申し込みください)
ひこねエコマーケット 「夢畑」	7月18日(日) 10:00~14:00 雨天のときは中止	大 手 前 公 園 (金亀町)	内 容:リサイクル品、手作りの作品などの市(いち)から掘り出し 物を見つけてください。 リサイクルステーション☎・FAX26-4810
彦根朝市	7月18日(日) 7:00~	いろは松駐車場	販売品:新鮮な季節の野菜、卵、漬物など 販売者:彦根朝市組合 ☎農政課☎22-1411(内線317)、FAX24-9676
野鳥の森自然観察会	7月25日(日) 9:00~12:00	多賀町・栗栖 (野鳥の森駐車場に) (8:50までに集合)	内 容:芹川の清流に親しむ「水の中の生物の観察」 サブプログラム:樹皮の貼り絵を作る 対 象:子どもから大人まで 持ち物:筆記具、雨具 参加費:無料 材料費:300円 野鳥の森ビジターセンター☎48-0121

道路はみんなのもの 広く美しく安全に



親子ふれあい劇場
~わくわくファンタジーロード2004~

ドラえもん と 井上あずみ のショーに1,200人を無料招待!!

8月は「道路ふれあい月間」。皆さんに道路の役割と重要性を改めて知っていただき、大切な道路を大事にしていけるため、さまざまな催しが行われます。その一環として開催される「親子ふれあい劇場~わくわくファンタジーロード2004~」に、1,200人を無料招待します。

日 時 8月5日(木) 13:15~16:00
場 所 ひこね市文化プラザ グランドホール
内 容 ドラえもん キャラクターショー
トトロ&ジブリソングがいっぱい
井上あずみファミリーコンサート
芸術アクトバット「中国民族雑技団」
キッズダンスパフォーマンス
ファンタジー・ロード冒険の道 ビデオでクイズ
募集人数 1,200人(応募者多数のときは抽選)

応募方法、問い合わせ先 往復はがきの往信の裏に住所、氏名、来場希望数(大人・子ども別に記載、合計5人まで)を書いて〒520-8585 大津市鶴の里16-1びわ湖放送「親子ふれあい劇場」彦根会場係 ☎077-524-0153へ。
応募期限 7月23日(金)必着



©テレビ朝日

※特に記載のないとき、相談料は無料です。

相 談 名	日 時	場 所	内 容・問 い 合 わ せ 先 等
こころの健康相談 一般相談	7月9日(金) 13:30~16:30	彦 根 保 健 所 ☎22-1770	こころの健康に不安を持つ本人や家族から、困っていることや生活のようすなどを聞き、必要に応じて医学的指導、医療機関や施設の紹介などをします(予約制)
アルコール相談	7月22日(木) 14:00~16:00		アルコール依存症などの問題について、本人や家族の相談に精神科医師、保健師が応じます(予約制)
人 権 相 談	7月7日(木)・21日(木) 13:00~15:00	市民相談室(市役所1階)	いじめ、あらゆる差別など、人権に関する相談 ☎人権政策課☎22-1411(内線373)
行 政 相 談	7月12日(月) 13:00~15:00	市民相談室(市役所1階)	国・県・市などに対する苦情や意見・要望に関する相談 ☎市民広聴室☎22-1411(内線101)
園 芸 相 談	7月12日(月) 13:00~16:00		花(草花・球根・宿根草など)の育て方や管理(予約制)
ア グ リ 相 談	7月15日(木) 18:00~20:00	グリーンプアひこね ☎25-3909	農業技術(水稻・野菜・果樹等)・農業経営・営農企画・農地に関すること(予約制)
結 婚 相 談	7月21日(木) 13:00~16:00		農家対象(予約制)
ス ポ ー ツ 相 談	7月14日(水) 13:30~15:00	市民体育センター	体力測定とコンピュータによる総合評価(体育館シューズを持参し、運動のできる服装でお越しください) 電話かファクスによる予約制(住所、氏名、電話番号を前日の15:00までに下記へ) ☎教育委員会保健体育課☎22-8871、FAX23-9190
巡回家庭児童相談	7月15日(木) 13:30~16:00	南 地 区 公 民 館	精神神経科医師が、家庭における子育て相談に応じます ☎児童家庭課☎23-9590
登 記 登 記 相 談	7月16日(金) 13:00~16:00	市民相談室(市役所1階)	相続・売買登記、土地の分筆・合筆、建物登記などの相談 ☎市民広聴室☎22-1411(内線101)
暴 力 相 談	7月16日(金) 13:00~16:00	市民会館第2会議室	暴力団から脅かされたり、たかられたり、無理難題を言われたりしていませんか(秘密厳守) ☎住民自治課☎22-1411(内線102)
法 律 相 談	7月20日(火) 13:00~16:00	市民相談室(市役所1階)	電話による予約制(受付は、7月13日(火)午前8:30から先着6人) 8:30~9:30 受付専用ダイヤル☎27-0395 9:30以降 ☎市民広聴室☎22-1411(内線101)
障 害 者 相 談	7月21日(水) 13:30~15:30	障害者福祉センター	県身体障害者・知的障害者相談員による、障害のある人の自立や社会参加など様々な相談 ☎障害福祉課☎27-9981 FAX26-1767
男女共同参画ウイズ相談室 こころの悩み相談	7月26日(月) 13:00~16:00	男女共同参画センターウイ ズ (旧・働く婦人の家)	臨床心理士が、こころのさまざまな相談に応じます 予約制(申込は水・木・金曜日13:00~16:00に、ウイズ相談専用ダイヤル☎21-5757へ)
仕事、家庭、人間関係… 男女共同参画ウイズ相談室 (総合相談)	毎週水・木・金曜日 13:00~16:00	男女共同参画センターウイ ズ (旧・働く婦人の家)	女性、男性を問わず、仕事や家庭、人間関係などに関するさまざまな悩みの相談に応じます。総合相談での相談内容によっては、専門相談(弁護士による法律相談)であらためてご相談いただけます 相談専用ダイヤル☎21-5757
中小企業労働相談	毎週月~金曜日 (祝日は除く) 9:00~15:45	湖 東 合 同 庁 舎	労働に関するあらゆる相談や質問に、専門の相談員が応じます 彦根中小企業労働相談所(園湖東地域振興局内)☎23-2064 土・日曜日、夕方は園休日労働相談所☎077-564-2030

日曜納税相談

☎税務課では、仕事などで平日お忙しい皆さんのために、毎月1回「日曜納税相談窓口」を設けて、納付や納税についての相談を受け付けています。7月は次のとおり

ですので、どうぞご利用ください。
日 時 7月25日(日)10:00~16:00
場 所 ☎納税推進室(市役所2階)
問い合わせ先 同室☎22-1411(内線210)



架空請求にご注意ください

債権回収業者を名乗って携帯電話の情報を請求したり、借金の返済を要求したりする架空請求が後を絶ちません。次のことに注意してください。

「利用した覚えがない」「無料だと思ったのに請求が来た」「もしかしたら利用したかもしれない」という場合は、支払わないようにしましょう。もっともらしい法律名や「裁判所に訴える」「強制執行する」などと告げられることがあります。が、惑わされないようにしましょう。

請求書などにある連絡先には絶対に連絡しないでください。電話番号など個人情報を知られ、さらに悪用されるおそれがあります。

その他、不安に思うことがあれば、すぐに☎生活環境課消費生活相談窓口(☎22-1411番内線173番・FAX☎27-0395番)に相談してください。また、脅迫などの犯罪に該当する可能性があるので、彦根警察署☎27-0110に相談しましょう。



健康管理だより

Ⅱ健康管理課

(平田町・福祉保健センター1階)

☎24-0816

FAX24-5870



健康管理課の
マスクキャラクター
「けんかんくん」

予 防 接 種

一ツバクリン反応検査・BCG接種一

対 象

- 平成16年4月出生児(対象児には、「説明書・予約票つづり」を郵送します。)
- 判定日に4歳未満児で、生後1度もBCG接種を受けていない児

日 程

ツバクリン 反 応 検 査	48時間後	判 定 ・ B C G 接 種
8月2日(月)	→	8月4日(水)

受付時間 13:10~14:10

場 所 福祉保健センター

(判定の結果、陰性の児には医師の診察後、BCG接種があります。)

※ツバクリン反応検査・BCG接種の対象年齢は4歳未満となっていますが、できるだけ1歳までに受けるようにしてください。



が ん 検 診

☆事前にⅡ健康管理課へ電話またはファクスで申し込んでください。

☎24-0816、FAX24-5870

(ファクスでの申込は、希望日時に受付できない場合のみ連絡します)

☆彦根市が実施する各がん検診の受診回数は、年間1人1回です。(マンモグラフィ検査は2年に1回)

一 子宮がん・乳がんセット

どちらか一方だけの検診も受けられます

日時(定員)・場所

7月29日(水) 13:00~14:00 (50人)
福祉保健センター別館

8月 3日(火) 13:00~14:00 (50人)
福祉保健センター別館

8月20日(金) 8:50~10:00 (50人)
福祉保健センター別館

10か月に なりました



横田 翔ちゃん
(西今町)



渡部 陽介ちゃん
(中敷町)



松島 鼓実ちゃん
(西沼波町)

献 血

一 成分献血一

成分献血は、血しょうや血小板といった特定の成分だけを採取し、体内で回復に時間のかかる赤血球は再び体内に戻す方法です。そのため体への負担が軽く、多くの血しょうや血小板を献血していただける特徴があります。

日 時 8月5日(水)

10:00、11:00、13:00、
14:00、15:00

(各4人ずつ、計20人)

場 所 福祉保健センター

※予約制です。7月26日(月)までにⅡ健康管理課へ申し込んでください。

ら くら 禁 煙 相 談

禁煙に対する不安や疑問を取り除き、効果的な禁煙方法をアドバイスします。

日 時 8月11日(水) 9:00~11:40

場 所 福祉保健センター

定 員 6人(予約制。先着順に受け付け、定員になりしだい締め切ります。)

内 容

- 呼気中の一酸化炭素濃度測定による肺の中の汚れ度をチェック
- 検尿による尿中ニコチン濃度測定でニコチン依存度をチェック
- 禁煙の疑問やノウハウ等についての個別相談(1人30分程度)

ハローベビー教室

●第1コース(助産師を囲んで)

日 時 8月 5日(水)13:30~15:30
(受付は13:15~13:30)

場 所 福祉保健センター別館2階
集団検診室

対 象 妊娠16週以降の妊婦とその家族
持 ち 物 母子健康手帳

●第2コース(歯科健診と歯みがき教室)

日 時 8月26日(水)13:30~15:30
(受付は13:15~13:30)

場 所 福祉保健センター別館2階
集団検診室

対 象 妊娠16週以降の妊婦とその家族
持 ち 物 歯ブラシ、コップ、母子健康手帳

予約受付 7月1日(水)から

※子宮がん検診は、生理中、生理の前後2~3日は避けてください。

※乳がん検診は、生理中、生理の前1週間を避けるほうが望ましいです。(触診でわかりにくいことがあるため)

※ペースメーカーを入れている人、豊胸手術をした人、妊娠・授乳中の方は、市の乳がん検診は適しませんので、医療機関でご相談ください。

がん検診および市民健康診査について、
次の人は検(健)診料が無料になります。

(ア) 老人保健法 医療受給者証
または高齢受給者証のある人
(発効期日前のものは無効となりますのでご注意ください)

(イ) 生活保護法による被保護世帯の人
(ウ) 市民税非課税世帯の人

必ず事前にⅡ健康管理課に
連絡してください。



健康管理だより



市民健康診査

(基本健康診査・結核健康診査)
(肺がん検診・肝炎ウイルス検診)

内 容 血圧測定、尿検査、血液検査、
内科診察、胸部レントゲン検査、B型肝炎
ウイルス・C型肝炎ウイルス検診など

対 象

- 基本健康診査 昭和9年(1934)4月2日~同61年(1986)4月1日生まれの人
- 結核健康診査 4月1日現在15歳以上の人
- 肺がん検診 受診当日に40歳以上の人
- 肝炎ウイルス検診 次のいずれかに該当する人

①4月1日現在で39歳、44歳、49歳、
54歳、59歳、64歳、69歳の人

②40歳以上で、次のいずれかに当てはまる人

・肝臓病にかかったことや肝機能が悪いと言われたことのある人

・大きな手術を受けたり、妊娠・分娩時に多量に出血したことのある人で、定期的に肝機能検査を受けていない人

※平成14・15年に検査を受けた人は対象になりません。

日 程

実施日	場 所	受付区分
7月12日(月)	稲 枝 商 工 会 館	午前・午後
7月13日(火)	稲 枝 商 工 会 館	午前・午後
7月14日(水)	肥 田 町 公 民 館	午前・午後
7月15日(木)	市立ふれあいの館	午前
7月16日(金)	稲 枝 地 区 公 民 館	午前・午後
7月22日(木)	グリーンピアひこね	午後
7月23日(金)	グリーンピアひこね	午前・午後

受付時間 午前…… 9:30~11:00
午後……13:00~14:30

※4月1日現在で70歳以上の人は、市内医療機関で受ける健診があります(7月1日~8月20日)が、胸部レントゲン検査はありませんので、この機会に受診してください。

※受診票は個人あてに郵送します。受診票が届かない場合は、直接会場へお越しください。受診は年1回です。

※胸部レントゲン検査を除き、料金(600円~2,700円)が必要ですので小銭をご

用意ください。(おつりのいらぬようご協力をお願いします。)

※血液検査がありますので、午前中に受けられる場合は朝食を、午後受けられる場合は昼食をとらずにお越しください。

※健康手帳のある人はお持ちください。※受診直前の尿(10ccぐらい)をお持ちください。

※無料になるときのあります。左下の欄を参照してください。

※主治医を持たず、寝たきりで受診できない人、および家族の介護が常時必要で受診できない人には、医師による訪問健康診査があります。詳しくはⅡ健康管理課に問い合わせてください。

脳いきいき健やか健診

内 容 痴呆予防のための健康教室・相談、
頭と体の体操、脳の老化度テスト

日 時 7月27日(水) 13:30~16:30

場 所 西地区公民館

対 象 65歳以上の人

定 員 10人(予約制。先着順に受け付け、定員になりしだい締め切ります。)

平成16年度滋賀県交通安全スローガン「近江路は 人よし 道よし 車よし」

今年1~4月 彦根市の交通事故発生件数295件(昨年234件) 死傷者数(死者数)389人(0人)〔昨年293人(1人)〕



動く図書館 たちばな号

巡回日程【7月後半】 市立図書館 ☎22-0649
FAX26-0300

日・曜日	駐 車 場	時 間
15日(水)	西 清 崎 町 浄 宗 寺 龜 山 ニ ュ ー タ ウ ン 日 夏 ニ ュ ー タ ウ ン 第 2 期 集 会 所 前	13:30 14:20 15:10
16日(木)	開 出 今 町 菅 原 神 社 蔵 の 町 団 地 中 央 部 開 出 今 第 2 団 地 (市 立 病 院 前)	13:20 14:10 15:00
20日(火)	平 田 町 大 沢 高 岸 B 公 園 西 今 町 松 田 団 地 西 今 町 伊 庭 団 地 若 葉 小 学 校	11:00 13:20 14:10 15:00
21日(水)	稲 里 町 公 民 館 稲 枝 地 区 公 民 館 稲 枝 駅 前	13:30 14:20 15:10
27日(火)	千 鳥 ケ 丘 会 館 横 岡 町 東 光 寺 前 平 田 町 明 照 寺 前	13:15 14:00 14:50
28日(水)	大 藪 町 農 業 倉 庫 下 後 三 条 説 教 場 中 敷 一 丁 目 白 山 神 社	13:20 14:10 15:00
29日(木)	新 海 町 公 民 館 田 附 町 公 民 館 本 庄 町 公 民 館	13:30 14:20 15:10
30日(金)	普 光 寺 町 公 民 館 彦 富 町 公 民 館 金 沢 町 公 民 館 港 屋 駐 車 場 東 (旧 平 和 堂 稲 枝 店)	11:00 13:10 14:00 14:50

駐車場での駐車時間は、30~40分間です。

図書館休館日 19日(月祝)、22日(木)、26日(月)
7月後半

し尿収集予定日 7月後半

彦根市事業公社 ☎23-4135 FAX23-4134

臨時の収集については、早めにお申し込みください。(臨時の収集は、原則として毎週火・金曜日に実施します。)

収集の状況によって、収集日は3日程度前後することがありますが、ご了承ください。



15日(水) 船、旭、元、後三条(上)、日夏、龜山地区、金沢(長江)、田附、
新海、南三ツ谷、甲崎、金沢(中・下)

16日(木) 日夏、服部、稲枝(西、東)、肥田(西肥田を除く)、柳川、上西川、
下西川、上石寺、下石寺、稲部(稲部) 稲里、金沢(中・下) 彦富

20日(火) 新、芹中、大橋、稲部(稲部東)、岡、西沼波(東部を除く)、東
沼波、大堀、日夏、龜山地区、彦富

21日(水) 元岡、沼波、東沼波、大堀、錦(第2、3部) 河原一丁目、河
原二丁目、河原三丁目、日夏、龜山地区、野良田、彦富(笹田団
地)、稲部(稲部南)

22日(木) 鳥居本地区、河瀬地区、金田、上岡部、下岡部、稲部(稲部南)、
彦富(笹田団地)

23日(金) 鳥居本地区、高宮地区、河瀬地区

26日(月) 古沢、松原(四ツ川を除く)、鳥居本地区、高宮地区、河瀬地区

27日(火) 高宮地区、河瀬地区

28日(水) 高宮地区、河瀬地区

29日(木) 小泉、高宮地区、河瀬地区

作品展集 第53回 彦根市美術展覧会

会期 9月28日(火)～10月3日(日)
午前9時30分～午後6時
(最終日は午後5時まで)
会場 ひこね市文化プラザ

応募資格 市内および近隣郡町(愛知郡・犬上郡の各町、能登川町、米原町)に在住または市内に在勤・在学の人(ただし、中学生以下は除く)

募集部門と会場(作品搬入先)

第1部 日本画(メッセホール棟2階)

第2部 洋画(油絵、水彩画、パステル画、創作版画、イラストなどを含む) (メッセホール棟第1・第2リハーサル室)

第3部 彫刻(メッセホール棟3階)

第4部 美術工芸(メッセホール棟2階)

第5部 書(メッセホール棟3階)

第6部 写真(メッセホール棟1階)

作品の主な規格(詳しくは開催要項にあります)

日本画・洋画 10号以上30号以内(ただし、創作版画については10号未満可)

彫刻 手で移動可能で、水・電気などを使わないもの

美術工芸 10号以上30号以内、壁面はたて・よこ合計1m以上2m以内、立体は1辺1・2m以内(美術的要素を備えた実用的な工作物であること)

書 額装を含めて1・5m以内(帖、巻子も可)

写真 四切以上全紙までのカラーまたはモノクロ(ただし、組写真は80cm×1m以内(まともなもの)。デジタル加工などをした場合は出品申込書にその旨明記)

いずれも未発表の作品に限る。

額にガラスおよびアクリルを入れないこと。ただし、水彩画・美術工芸作品につ

いてはアクリルの使用を可とする。

各部とも、陳列にじゅうぶん耐え得る装飾保護設備(額縁、吊り金具、吊りひも、表装など)を施すこと。

出品点数 1部門につき1人1点(写真に限り、1人2点以内)

出品申し込み 出品作品1点につき出品申込書1通と出品料を添えて、各部門ごとの会場へ搬入してください。

出品料 出品作品1点につき500円

搬入日時 9月17日(金)午前9時30分～午後8時、同18日(土)午前9時30分～午後5時

搬出日時 10月3日(日)午後5時30分～同8時、同5日(火)午前9時30分～午後5時

審査、表彰 彦根市美術展覧会審査員により審査し、優秀な作品を表彰するとともに、「広報ひこね」および「困教育委員会ホームページ」に掲載して紹介

その他詳細については、必ず開催要項をご覧ください。

開催要項と出品申込書は、市役所1階受付、支所・各出張所、広野会館、東山会館、各地区公民館、高宮地域文化センター、みずほ文化センター、市立図書館、ひこね市文化プラザ、各老人福祉センター、障害者福祉センター、ひこね燦ばれず、グリーンピアひこね(困教育委員会事務局(市民会館2階)など)にあります。

問い合わせ先 困教育委員会生涯学習課 ☎247971番 FAX239190番

お問い合わせ先 困教育委員会生涯学習課 ☎247971番 FAX239190番

お問い合わせ先 困教育委員会生涯学習課 ☎247971番 FAX239190番

お問い合わせ先 困教育委員会生涯学習課 ☎247971番 FAX239190番

お問い合わせ先 困教育委員会生涯学習課 ☎247971番 FAX239190番

お問い合わせ先 困教育委員会生涯学習課 ☎247971番 FAX239190番

お問い合わせ先 困教育委員会生涯学習課 ☎247971番 FAX239190番

お問い合わせ先 困教育委員会生涯学習課 ☎247971番 FAX239190番

お問い合わせ先 困教育委員会生涯学習課 ☎247971番 FAX239190番

お問い合わせ先 困教育委員会生涯学習課 ☎247971番 FAX239190番

お問い合わせ先 困教育委員会生涯学習課 ☎247971番 FAX239190番

お問い合わせ先 困教育委員会生涯学習課 ☎247971番 FAX239190番

お問い合わせ先 困教育委員会生涯学習課 ☎247971番 FAX239190番

お問い合わせ先 困教育委員会生涯学習課 ☎247971番 FAX239190番

お問い合わせ先 困教育委員会生涯学習課 ☎247971番 FAX239190番

お問い合わせ先 困教育委員会生涯学習課 ☎247971番 FAX239190番

お問い合わせ先 困教育委員会生涯学習課 ☎247971番 FAX239190番

お問い合わせ先 困教育委員会生涯学習課 ☎247971番 FAX239190番

お問い合わせ先 困教育委員会生涯学習課 ☎247971番 FAX239190番

お問い合わせ先 困教育委員会生涯学習課 ☎247971番 FAX239190番

一票に 夢を 未来を 活力を 参議院議員通常選挙

7月11日(日)
7:00～20:00

投票日当日、仕事や旅行、レジャー、冠婚葬祭などで投票所へ行けない人は、期日前投票をご利用ください。(投票所入場券の裏を参照)

投票日当日、彦根市ホームページで投・開票速報をします。

彦根市ホームページ <http://www.city.hikone.shiga.jp/>

i-モード <http://www.city.hikone.shiga.jp/im/>

ボーダフォン <http://www.city.hikone.shiga.jp/js/>

EZweb(au、Tu-Ka) <http://www.city.hikone.shiga.jp/ez/index.html>

問い合わせ先 困選挙管理委員会事務局 ☎22-1411(内線462)

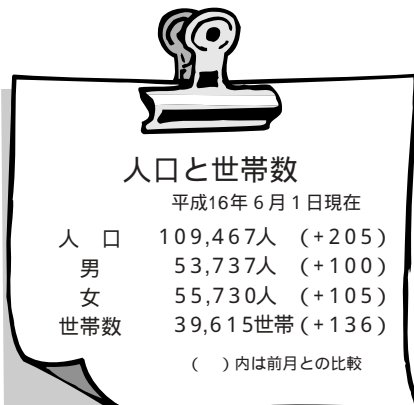
FAX22-1398

表紙のことば

森野宏一さん(服部町)

服部町内の三火光神社の前を流れる清流は、愛知川の伏流水を主な水源として、古くは江戸時代から、服部町を含めた、この地域の住民の生活を支えてきました。町内にはこの川から分岐した水路が縦横に走り、各家庭の生活用水として使われていました。さらに、川の水は、周辺の田畑にも潤いを与え、豊かな美りをもたらしてきたのです。

近年の上水道や農村下水道の普及により、川の水を生活に利用する機会は減少しました。しかし、平成7年には、神社周辺を中心に「服部町ふれあい河川」として整備され、現在は、子どもたちの遊び場、地域の憩いの場となっています。長い間地域を支えてきたこの美しい流れを、これからも町民全体で守っていききたいと思います。



三火光神社の前に立つ森野さん

あなたの好きな彦根の表情を表紙を通じて紹介してください。写真をお持ちでない場合は、困情報政策課広報係で撮影します。☎22-1411(内線431)へ気軽に連絡してください。